

授業科目 救急医学

【担当教員名】 朱 敏秀	対象学年	3・4	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<概要>

以下講義内容参照。

<学習目標>

医療福祉の学習を円滑に行うために、一次救急医療の諸種症候の病態を理解し、その診断・対処・治療を学ぶ。  
更に救急医学の基本的知識と初歩的な問題解決能力を修得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	救急医学とは、 主要症候別救急医療の実際(I) (1)呼吸困難 (2)ショック (3)胸痛、背部痛 (4)腹痛 (5)意識障害	講義 (以下同様)
2	主要症候別救急医療の実際(II) (6)頭痛 (7)痙攣 (8)発熱 (9)急性中毒 (10)精神疾患	
3	救急医療における検査・治療手技(I) (1)心肺蘇生法、AEDについて (2)気管内挿管 (3)気管切開 (4)パルレンカテーテル挿入法 (5)S-Bチューブ挿入法	
4	救急医療における検査・治療手技(II) (6)胸腔ドレナージ (7)腰椎穿刺 (8)血液浄化療法 (9)救急時輸血 (10)血液型判定・交叉試験・輸血	
5	全身管理の基本(I) (1)呼吸管理の基本-酸素療法から機械換気まで (2)循環管理の基本	
6	全身管理の基本(II) (3)体液・電解質の管理の基本 (4)体温管理の基本	
7	救急医療における画像の読み方 (1)胸部X線 (2)腹部X線 (3)腹部エコー (4)心エコー (5)頭部・胸部・腹部CT	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	プリントを配布します。			
参考書				
その他の資料	36mm、換			

【評価方法】 試験結果から判断する。	【履修上の留意点】 履修者が多い場合は受講者数を限定する可能性があります。 その場合、救急医学演習を履修する学生を優先とします。
-----------------------	--